

平成 30 年度スポーツ庁委託事業「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」  
 大阪市地域セミナー 報告書

日時	2018（平成 30）年 7 月 18 日（水） 15：30－17：30
会場	大阪市教育センター5 階講義室
参加者	18 名（大阪市教育委員会 4 名、推進校担当者 13 名、日本体育大学 1 名）
プログラム	<p>15：30 開会挨拶                  大阪市教育委員会指導部人権・国際理解教育担当 首席指導主事 石井宏享</p> <p>15：35 「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」について                  日本体育大学 特別研究員 乳井勇二</p> <p>16：00 大阪市の取組                  トップアスリートの取組                  多文化共生プログラムの推進                  ホストタウンの取組</p> <p>16：10 事務連絡・質疑応答                  年間計画、予算執行、選手・講師派遣について、アンケート調査について                  事業実施報告書について、C-net ゲストティーチャーについて</p> <p>16：35 校種別交流会</p> <p>17：05 閉会</p>
内容	<p>大阪市教育委員会の石井指導主事より、本事業における趣旨説明と大阪市独自の取り組みを確立していけるようご協力いただければとの挨拶があった。</p> <p>続いて、大学側より本事業の目的・概要、そして大学の事業方針を含めた 3 点について説明を行った。大阪市ではトップアスリートの取組、多文化共生プログラム、ホストタウンの取組と大きく 3 つのテーマを掲げており、推進校がより取り組みやすい内容を考案できるよう実践事例の紹介を行った。</p> <p>大阪市教育委員会からの説明では、3 つのテーマについてより具体的な説明があり、2 月に行われるオーストラリア車いすバスケットボールチームとの交流を重要な取り組みとして進めていく方針を掲げた。今年度も例年通り交流イベントを予定しており、2020 年以降も継続できるようなイベントとしていきたいとの要望があり、推進校の協力を促していた。</p> <p>アスリートの取組についてはオリンピック・パラリンピアンへの招聘までの流れ、事前事後の取組内容の充実をテーマとして、交流体験だけで終わることのないように年間を通じた取り組みとなるよう説明があった。</p> <p>大阪市内での事業開始にあたり、事業概要や大阪市の方針が共有され、オリンピック・パラリンピック教育を推進に向け充実したセミナーとなった。</p>



会場の様子